



中富地区社協だより



発行：中川富岡地区社会福祉協議会 発行責任者：会長 柳井洋 編集責任者：広報部会長 山口修 連絡先(0438)63-3888

長寿を言祝いで(敬老会を開催)



「第23回中川富岡地区敬老会」が去る9月21日(月・敬老の日)午後1時から平川公民館で中富地区社協の主催で開催されました。中富地区に在住の70歳以上の高齢者約230名が来場され、歌や演芸等で敬老会の楽しいひと時を過ごされました。

当日は、開会宣言から主催者の柳井洋中富地区社協会長のあいさつ、後援者の小島直子袖ヶ浦市社協副会長のあいさつ、地区民生委員・児童委員、主任児童委員の紹介があり、その後結婚50周年を迎えたご夫婦8組(当日2組欠席)への記念品の贈呈、来場者の最高齢の男女の方々へ記念品の贈呈と記念撮影がありました。

セレモニーの後は「演芸」となり、和太鼓会による賑やかな和太鼓演奏から始まり、次に人権擁護委員の小倉正敬さんの「人権についてのお話」があり、今回復活したカラオケは、公民館のカラオケサークルで活動されている方々の中から歌好きの仲間3人が自慢ののどによる熱唱があり



ました。お年寄りの健康体操は、地域包括支援ひらかわサブセンターの今井恵保健師が座ったままでの体操を高齢者や関係者に指導され、その後休憩となりました。休憩の後は、百目木の関勇さん他2名の有志による舞踊「辛うござんす一人旅」、「無法松の一生」などが演じられ、最後は、総勢22名の迫力ある素晴らしい平川中学校吹奏楽部の吹奏楽演奏、そして会場全員による「ふるさと」の合唱で締めくくられました。閉会宣言の後、例年どおりのお楽しみ抽選会があり、素敵な景品と紅白饅頭を手に来年の参加を約して皆さんが帰途に着き、第23回中富地区敬老会が終了しました。



去る10月16日(金)に中富地区社協主催による地区在住の70歳以上ひとり暮らし高齢者を対象とした「ふれあい交流会バスハイク」が開催されました。当日は、総勢39名の参加があり、大型バスで東京の名所を巡るバス旅行が実施されました。アクアラインを通過して羽田空港では大きな飛行機に驚き、皇居外苑の楠公レストハウスで昼食のお弁当「参の重」をおいしく食べました。こ

ふれあい交流会(東京見て歩き)



「エプロン・三角巾と200円を持って富岡分館に集まって」の呼びかけに34名が参加した「中富いきいき料理教室」は、去る10月9日(金)に開催されました。調理に先立ち、市の小沢保健師から「減塩」について講演がありました。その後「無理なく減塩健康料理」が参加者の皆さんで分担をして調理されました。メニューは「小松菜入りつくね団子の甘酢あん」「ジャガイモとタマネギのチーズカレット」「ごぼうのコンソメスープ」「黒糖くずもち」「ご飯」の5種類でした。参加された皆さんは和気あいあいと賑やかな中で、素早い手さばきでアツと言つ間に出来上がっていました。早速に試食会となり、それぞれおいしく試食しながら「減塩で生活習慣病を減らしましょう」を実感していました。

減塩メニュー(いきいき料理教室)



では「菊の紋のある最中」等が好評でお土産にしてみました。午後は芝公園にある東京タワーの見学となり、「50年ぶり」に見る人もいて思い出深いタワーを懐かしげに見学をしていました。帰りのバスでは「来年はどこへ行く?」との声も聞こえ、あいにくの小雨模様のなかでしたが、参加した高齢者の交流も図られた有意義な一日でした。



視察研修会(成田方面)



中富地区社協の

視察研修会が去る

11月2日(月)に成田方面の福祉施設等を訪問して実施されました。当日は35名の参加があり、あいにくの雨模様の中を大型バスで館山道を北上して成田市にある介護付有料老人ホーム「レストヴィラ成田」に着いて、施設内で研修会が実施されました。事業方針や事業概要の説明を受け館内を回りモデルルームも見学し、その後質疑応答の時間となり、熱心な議論がなされて地域福祉を考える上で大いに参考となりました。昼食はホテルのレストランでバイキングとなり、好きな料理等をたくさんおいしく食べて満足でした。午後の研修は、成田国際空港第1ターミナルで自由行動による見学会でした。雨模様で飛行機の離発着見学はできず残念でした。最後は芝山町の芝山はにわ博物館の見学会でした。この地の古墳から出土した「はにわ」150余点が展示され、そのはにわの大きさ、表情、種類の多さにびっくりしました。雨模様の中での研修でしたが内容の濃い研修となりました。



今年も10月23日(金)に『英語で遊ぼう』の一環として中川幼稚園ならではのハロウィンパーティが開催されました。



芸術の秋(平川公民館まつり)

中富地域の話題

菊花の香りのなか第29回平川公民館まつりが去る11月7日(土)8日(日)の2日間で開催されました。生涯学習や社会教育を通じた「学び」の場、そして中富地域のまちづくりの拠点として地域に親しまれている公民館には、赤ん坊からお年寄りまでたくさんの人々が来場し「まつり」は盛大なものとなりました。南側前庭広場、公民館全館、図書館の各所では時間割によって様々なイベントが実施され、まさに「こったがえして」いました。今年も、例年のような作品展、芸能・サークル発表会に加えておまつり広場や各種講習会にはミニ鉄道列車やモノづくり等子どもと大人による新しいイベントも多く企画されていて、楽しく賑やかに家族や地域の人々の交流の場が広がっていました。



た。平川・根形保育所と中川小1年生も参加してくれました。園児たちは、保護者手作りのマントを身に付け、デイズニーの曲に合わせて仮装パレードで踊ったり、記念撮影など大変な盛り上がりでした。



タイムカプセルを開封(平川中)

平川中学校では創立50周年記念事業の「タイムカプセル開封式」が8月16日(日)に平川中学校体育館で開催されました。このカプセルは30年前に実施された統合20周年事業の一環として埋設されたもので、30年後に開封するとされていたものです。開封日には、約400名の卒業生が集まり、封入当時に書いた作文や写真を手にして仲間と語り合っって旧交を温めあっていました。なお、思い出の品は、12月28日まで平川中学校に保管されているとのことでした。また、創立50周年事業として実行委員会の手で再びタイムカプセルを埋設するとの話でした。



元気な地域のひと

今年の敬老会に会場された方のなかで男性の最高齢者となった坂倉さんを「元気な地域のひと」として紹介します。



坂倉 保さん(上宿)

坂倉さんは、大正14年生まれの90歳となり、お住まいは上宿で居住してから44年が経つたそうです。好きな食べものは、マグロの刺身だそうです。趣味はカラオケで歌うこととゲームをするということです。長生きの秘訣をたずねますと、「よくよくよせずに気持ちを若く持って明るく暮らすこと」「カラオケスタジオで声を出して歌うこと」と話されていました。坂倉さんは、スポーツも大好きでグラウンドゴルフやゲートボールをよくやるそうです。坂倉さんから「仲間を大切にしながら、前向きに生きること」が大切であると実感させられました。

編集後記

朝晩めっきりと寒さを肌と感じ紅葉前線が足早にやって来て里は見事な錦秋に色めきます。秋はイベントも多くあり地域の話をたくさん届けたいのですがA4版では紙面が限られてしまい折角の原稿を没にせざるを得ません。辛いものがあります。楽しいニュースがあれば提供下さい。